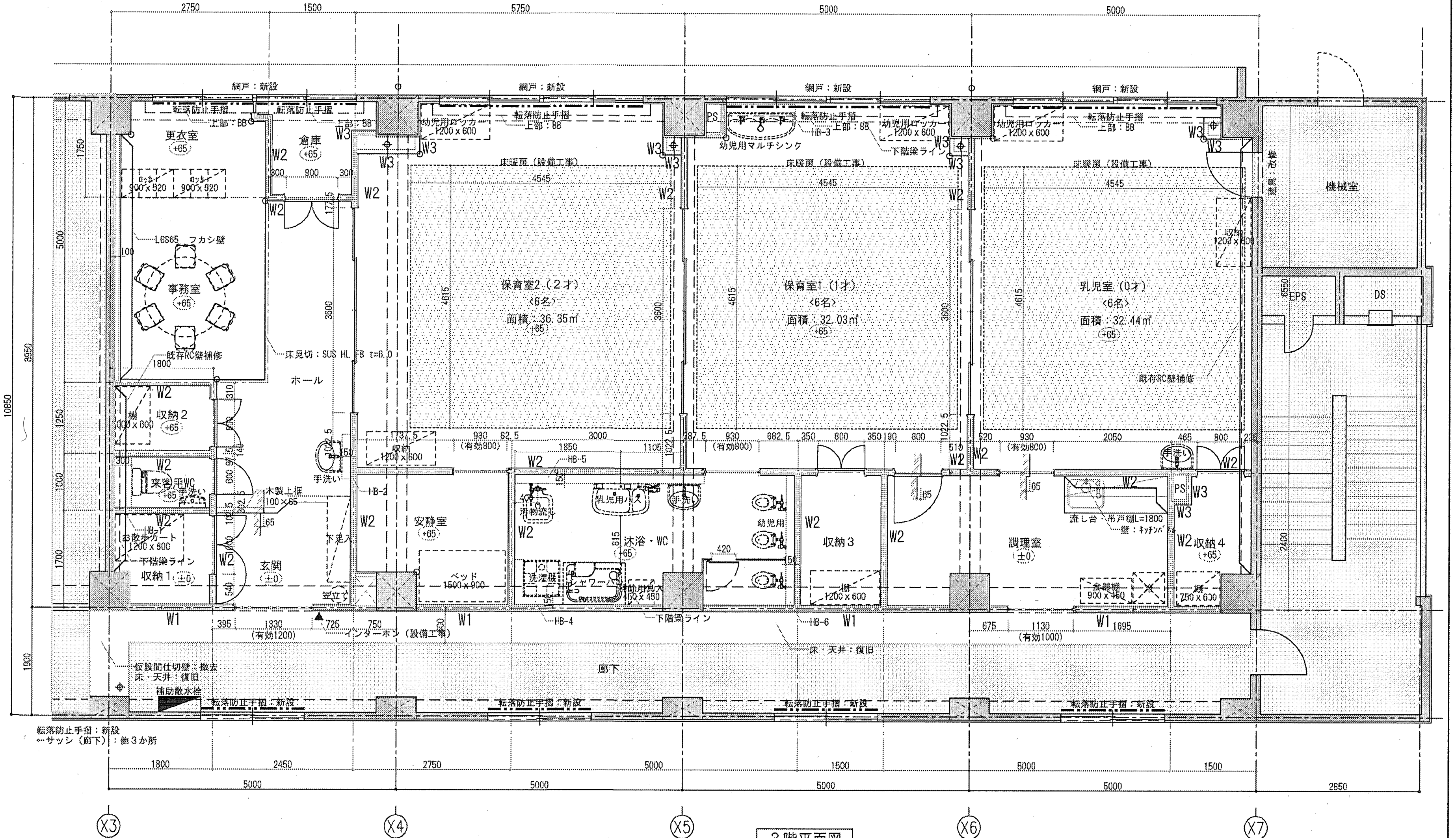
改修　3階平面詳細図



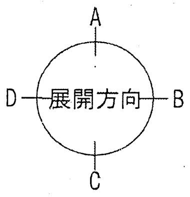
2750
1500
5750
5000
5000
網戸：新設
転落防止手摺
上部：BB
更衣室
+65
倉庫
+65
ロッカー 900×820
幼児用ロッカー 1200×600
幼児用マルチシンク
下階梁ライン
床暖房（設備工事）
4545
4615
3600
保育室2（2才）
〈6名〉
面積：36.35㎡
保育室1（1才）
〈6名〉
面積：32.03㎡
乳児室（0才）
〈6名〉
面積：32.44㎡
既存RC壁補修
機械室
EPS
DS
LGS65　フカシ壁
事務室
+65
床見切：SUS HL FB t=6.0
ホール
収納2
収納1
収納3
収納4
来客用WC
手洗い
お散歩カート 1200×800
玄関
(±0)
木製上框 100×65
下足入
笠立て
安静室
+65
ベッド 1500×900
HB-2
HB-4
HB-5
HB-6
沐浴・WC
乳児用バス
洗濯機
シャワーパン
汚物流し
幼児用
調理室
(±0)
流し台
吊戸棚L=1800
壁：キッチンパネル
食器棚 900×450
棚 750×600
PS
W1
W2
W3
(有効800)
(有効1200)
(有効1000)
インターホン（設備工事）
床・天井：復旧
仮設間仕切壁：撤去
床・天井：復旧
補助散水栓
廊下
転落防止手摺：新設
転落防止手摺：新設
←サッシ（廊下）：他3か所
1800
2450
2750
1500
2850
10850
8950
1900
X3
X4
X5
X6
X7
Y0
Y1
Y2

3階平面図

凡例			
BB	ブラインドボックス ロールスクリーンボックス	仮設扉	仮設間仕切壁A種（耐火・防音）（スラブまで）、仮設扉
HB	配管バック	▨	改修範囲外 （RC躯体、外壁廻りサッシュについては特記なき限り既存のままとする）
○	出隅コーナーガード		改修範囲：保育所内全て 廊下　一部復旧、新設
		W1	LGS下地　両面GB-Rt12.5+GB-RHt9.5（スラブ面まで）
		W2	LGS下地　両面GB-Rt12.5+GB-RHt9.5　（天井面まで）
		W3	LGS下地　片面GB-Rt12.5（天井面まで）

※工事中も随時2方向避難に支障のないようにすること。
※仕上については仕上表を参照すること。
※廊下等の作業員の動線にはベニヤ板等で床を養生すること。
※工事を行う室の仮設内容について。
- 廊下側、外壁側の建具を閉鎖し工事関係者以外の出入を管理する。
- 室内の備品等にはビニールシート等にて養生を行う。
- 工事完了後は清掃を行うこと。

※工事範囲と使用範囲の境界において、天井裏の遮音対策・粉塵等の飛散防止対策を行うこと。
※設備配管等によりスラブまで仮設間仕切りを施工できない場合においても、天井裏の遮音対策・粉塵等の飛散防止対策を監督員との協議の上講じること。
※仮設間仕切壁設置に伴う床材への損傷は必ず復旧及び補修すること。また既存壁に損傷を与えた場合も復旧及び補修を行うこと。
※発生材の搬出と資材等の搬出入は小運搬によること。
※-------- 破線部分の設備器具・家具備品は、建築工事外とする。



施設課	設計番号	設計年度
副課長		

平成　年　月

担当

株式会社 内藤建築事務所
京都市左京区田中大堰町１８２
一級建築士　乾 康雄（登録番号93837号）
一級建築士事務所　京都府知事登録（26A）第02291号

（一級建築士　登録第244140号）
（構造設計一級建築士　第7059号）
矢口　正宏
【構造関係規定に関わる部分が適合する】

（一級建築士　登録第151369号）
（設備設計一級建築士　第2148号）
東條　和彦
【設備関係規定に関わる部分が適合する】

工事名　京都府立医科大学保育施設設置工事（建築工事）

図名　撤去・改修　3階平面詳細図

縮尺　A1：1/50　A3：1/100

設計日

図番　A-15

23 枚の内